

令和 2 年 第10回委員会会議録

1 開催年月日 令和 2 年 6 月 22 日（月）

2 開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前11時10分

3 場 所 福岡市選挙管理委員室

4 出席委員 津田委員長，濱田委員長職務代理者，三原委員，石井委員

5 事務局職員 事務局長，選挙課長，庶務係長，選挙係長，書記 1 名

6 傍 聴 者 なし

7 議 題

（1）報告事項

① 令和 2 年度福岡市明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施について

② 公職選挙法の一部改正（地方議会議員選挙の立候補届に係る見直し）について

③ 公職選挙法の一部改正（町村の選挙における公営拡大と供託金導入）について

（2）その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・ 令和 2 年 7 月 6 日（月）午前10時30分

・ 令和 2 年 7 月 20 日（月）午前10時30分

・ 令和 2 年 8 月 5 日（水）午前10時30分

8 議事次第（○：出席委員，▲：事務局職員）

（1）報告事項

報告事項①～③について，事務局から資料の説明・報告を行った。

【質疑等】

○ ②の改正について，福岡市では，予め立候補者の住所要件を確認しているが，全国的には住所要件を確認していなかったということか。

▲ 新聞報道等を見ると，昨年統一選の事案では，住所要件がないことは把握していたが，立候補は受け付ける必要があり，また，判例において，住所要件がないことを公表することは選挙運動の妨害にあたるとされているため，事前公表しなかったようだ。

○ ③の改正については，選挙公営と供託金を関連するものとして改正していることに問題があると思う。

日本の供託金については，世界的に見ても高いという意見があり，立候補し

やすいように減額を進めるべきである。全国的に議員のなり手が無いという問題も出てきている中で、町村議会議員選挙まで供託金制度を拡大すべきではないと思う。
選挙は民主主義の基盤であり、色々な世代や分野などから立候補者が出る必要があると考えており、若者や女性、障がい者などが立候補しやすい状況を作るという点からは、今回の一律15万円の供託金導入はハードルを上げることになり、問題があると思う。
選挙公営については、条例が作られていない自治体もあるため、選挙公営と供託金については、別々に考える必要があると思う。
これらの公職選挙法の問題について、選挙管理委員として議論していく必要があると考える。
○ 供託金制度の見直しが必要であると思う。
(2) その他
・ 次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。
・ 6月議会における質問について、事務局から説明を行った。
【質疑等】
○ 投票所入整理券への音声コードの活用については、読み取るための機械が必要となるため、点字を使用した方が良いという方もいるかもしれない。実際に使用される方からどの方法が一番使いやすいのかヒアリングしたうえで、進めた方が良いと思う。